



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

N o . 2 9 3

* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

(問) 戦時中の新聞や雑誌に使われた「紙」の統制について調べたい。

また、戦中・戦後の製紙会社や会社の歴史についても知りたい。

(答) けんさくたんまつ 検索端末トップ画面の【なんでも検索】にキーワードを入力します。

➤ **なんでも検索** ⇒ **紙** **統制** ⇒ 1,017 件ヒット 件数が多過ぎるので絞しぼってみます。

資料の種類: ☒ 図書 ⇒ 552 件ヒット

まだ件数が多いため、新聞や雑誌に使われている「洋紙」をキーワードにして絞り込み検索を行います。

絞り込み検索 ⇒ **ことばで絞り込む** ⇒ **洋紙** ⇒ 19 件ヒット

『柏原洋紙店八十年史』(C585/Ka77 地下書庫中公新社 080000077)

『東京における紙商百年の歩み』(585/To46 閉架一般 000042955)

『紙の統制実情』(585/H89 閉架一般 000044248)

『戦時物資統制法』(E333/Sh49 地下書庫江波戸図書 080005499)

さらに当時の製紙会社についても知りたいとのことなので、

➤ **なんでも検索** ⇒ **製紙** ⇒ 474 件ヒット ここでも件数が多過ぎるので絞しぼります。

➤ 資料の種類: ☒ 図書 ⇒ 318 件ヒット

会社の歴史を調べるのであれば、「社史」をキーワードにして絞り込み検索を行うと便利です。

絞り込み検索 ⇒ **ことばで絞り込む** ⇒ **社史** ⇒ 14 件ヒット

『王子製紙解体余聞』(C585/Mi36 地下書庫中公新社 080000152)

『新富士製紙百年史』(585/Sh62 閉架一般 000052629)

『十条製紙社史』(585/J92 閉架一般 000035146)

『本州製紙社史』(C585/H85 地下書庫中公新社 080000040)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

内田百閒の『東京焼尽』で学ぶ戦争体験

今年は終戦の日の昭和 20 年(1945)8 月 15 日から 80 年を迎え、節目の年となりました。太平洋戦争を体験した家族の労苦について思いをはせたり、その歴史について調べた方もいたのではないのでしょうか。報道でも多く取り上げられた同年 3 月 10 日未明に起きた東京大空襲では約 10 万人が亡くなったと言われ、現在の墨田区や台東区を中心に大きな被害を受けました。

その後も空襲は続き、5 月 24 日未明と 25 日深夜から 26 日に及んだ山の手空襲でも現在の品川区、港区の他、文京区、新宿区など商業地域や住宅地で多くの死傷者が出ました。随筆家として知られる内田百閒はこの空襲で逃げ回った様子を日記に残しています。

内田の日記を収載した『東京焼尽』は昭和 19 年(1944)11 月 1 日から始まります。当時は東京が初めて空襲を受けた 17 年(1942)4 月 18 日のドーリットル空襲以降、2 年ほど空襲が無い日々が続いていました。この間にアメリカ軍はサイパン島、テニアン島、グアム島を攻め、基地を築くことで日本本土への本格的な空襲が可能になっていました。空襲が再開した 19 年 11 月 24 日の日記では困惑する内田の様子が窺えます。

一昨年の四月十八日以来の騒ぎなり。(中略)又敵の飛行機は来る事ならん。厄介な話也。

昭和 20 年(1945)1 月 29 日には「二十七日の銀座や有楽町界隈の爆撃の話を聞いて又更めて空襲がこわくなった」と空襲への恐怖を綴っています。5 月 24 日未明の山の手空襲では自宅のあった現在の千代田区五番町は被害が無かったものの空襲の現場を目撃しました。その夜、月明かりに照らされた自宅と近隣の家々を眺めた内田は妻と次のように語ったそうです。

敵の飛行機が如何に残虐であってもこの小さな家をねらうと云う事は有るまいと家内に話した。家内はそう云えばお隣りの立ち樹一本ですものねと云った。

しかし、翌 25 日の夜 10 時 23 分に空襲警報が鳴り、避難を余儀なくされます。

焼夷弾が落ちて来ると云う経験を初めて味わった。(中略)二人共背中と両手に荷物が一ぱいなので、ただでさえ歩くのに困難である。その上風がひどく埃と灰と火の粉で思う様に歩けない。

自宅は焼失し、避難先での生活が始まりました。食糧、生活用品にも事欠き、水道や電気などのインフラ設備も無く苦労する日々を過ごし、8 月 15 日となりました。

昨夜より今日正午重大放送ありと予告あり。(中略)天皇陛下の御声は録音であったが戦争終結の詔書なり。熱涙滂沱として止まず。どう云う涙かと云う事を自分で考える事が出来ない。

もうすぐ戦後 80 年目の 11 月を迎えます。終戦の日だけでなく、折に触れて戦争体験者の労苦を積極的に学びたいですね。

※引用文の旧漢字、旧仮名遣いは改めました。

参考文献

『東京焼尽』916/U14 開架一般 000015715

『語り伝える東京大空襲 第2巻』210.75/Sa67/2 開架児童書 060004365

『語り伝える東京大空襲 第4巻』210.75/Sa67/4 開架児童書 060004321



ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 293

2025 年 10 月 21 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1